

Q4

本学部の志望理由は何ですか？ (観光系学部)

キーワードは「持続可能な観光」。世界遺産の学びを生かし、回答に深みを持たせよう。

回答例

観光学部に入学し、サステナブルツーリズム（持続可能な観光）について学びたいと考えたからです。

高校1年生のときに世界遺産検定を受検し、将来行きたい世界遺産がたくさんできました。そして、世界遺産が観光資源の一つとして各国の経済を支えており、世界遺産を活用した観光需要の創出は今後の日本においても大きな可能性を秘めていることも知りました。

しかし、世界遺産が観光地化されることによる様々な課題もあります。例えば、京都ではオーバーツーリズムによる混雑や騒音、ポイ捨てごみの問題がありますし、屋久島では登山道外の植生の荒廃や登山者の安全管理の問題があります。世界遺産を具体的な事例として課題を見つけ、その解決策を考えることは、サステナブルツーリズムの実現にむけた大きなヒントになると考えています。

私は、エコツーリズムやユニバーサルツーリズムなどの様々な観光に関する授業を通じて、持続可能な観光について学び、将来は日本の観光立国に寄与し、日本の魅力を世界に発信できる人材になりたいと考えています。



▶ 屋久島の縄文杉。森林内にはバイオトイレなどがあるが数に限りがあるため、観光客には携帯トイレを使用してもらうといった対策を採っている。

学習したからこそその回答

世界遺産の保護・活用と、注目が集まるSDGsやサステナブルツーリズムは、相互補完関係にあります。世界遺産学習を通して知った観光の負の側面、解決策としての持続可能な観光を引き合いに出した回答例は、世界遺産を学んだことで一層説得力のある印象を与えます。



▲ 白川郷の合掌造り家屋

世界遺産観光の例を準備しよう

回答例では京都や屋久島の具体例を挙げています。志望動機を答えた後に、事例についてさらに突っ込まれる可能性があるため、①世界遺産の観光地としての現状、②課題、③実行策or考える解決策について予めまとめておくと安心です。

【サステナブルツーリズム（持続可能な観光）】サステナブルツーリズムとは観光受け入れ地域の環境や文化、経済などに十分配慮した観光のこと。「持続可能な観光」とも。白川郷などを擁する岐阜県では、地域に根付く伝統や文化を発信している。これらは観光用につくられたのではなく、豊かな自然環境の下で受け継がれてきたもの。また、白川郷でのイベント開催時には予約制をとるなどオーバーツーリズムへの対策も行っており、このような地域資源の活用方法は、サステナブルな観光として注目が集まっている。